

講義名	品質管理論			授業形態	
担当教員	保田 洋	開講期・曜日・時間	前期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

品質管理は、顧客の要求にあった商品(製品やサービス)を確実かつ経済的に提供するための活動、手法である。品質管理について、基本的な品質の捉え方と分析方法を学ぶ。

到達目標

1. 企業において品質の保持は不可欠であり、品質と品質管理はどうあるべきか説明できるようになる。
2. 品質の維持、改善のための手法を活用できるようになる。
3. 品質の維持、改善活動の計画と実行ができるようになる。

提出課題

講義の中で提示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の中でフィードバックする。

評価の基準

授業内での小テスト（2回：50％）と課題（小テストを除く毎回の課題13回：50％）で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

評価方法や授業の内容は初回の授業で説明するため、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。この授業はパソコンを利用して授業を進めていく。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

必要に応じて、プリント又は教材を配布する。
参考文献は必要に応じて随時紹介する。

授業計画

- 1回目：ものづくりと品質について
(事前学習)
品質とは何か調べておくこと(120分)
(事後学習)
課題への取り組み(120分)
- 2回目：品質と品質マネジメント(180)
(事前学習)
品質マネジメントとは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
1回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 3回目：行程、プロセスとは
(事前学習)
品質のプロセスとは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
2回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 4回目：QC的問題解決方法
(事前学習)
QCとは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
3回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 5回目：データ分析の実際
(事前学習)
品質管理におけるデータ分析とは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
4回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 6回目：QC的考え方、分析方法(パレート図)
(事前学習)
パレート図とは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
5回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 7回目：QC的考え方、分析方法(特性要因図)
(事前学習)
特性要因図とは何か調べておくこと(90分)
(事後学習)
6回目の小課題の振り返り(30分)
課題への取り組み(120分)
- 8回目：まとめと小テスト
(事前学習)
これまでの内容を復習しておくこと(120分)
(事後学習)
小テストへの取り組み(120分)
- 9回目：QC的考え方、分析方法(ヒストグラム)
(事前学習)
ヒストグラムとは何か調べておくこと(90分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を受講することで、企業の経営のために必要な品質管理の知識や考え方が身につけ、品質の維持を実現するには利用者から意見も取り入れた形で品質の改善をしていく必要性を理解できるようになること。これをもとに、経営の仕組みや組織行動についても学ぶことで論理的思考力を身に付け、知識や知恵を行動に転換することができるようになること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中にパソコンを利用して演習問題を解いていくので、疑問に感じるところはその都度質問し、解決すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
現場での具体的な事例について解説する。

備考